

ROYAL-TIMES



お買い物レク ファッションセンターしまむら (2026年3月5日) =ロイヤルホーム

うららかな陽光の中で

池上 真理子
2026年 3月 16日

水が温み、桜の便りを心待ちにする頃となりました。冬の間、水の中でじっと寒さを耐えていた麻生川の鯉たちも、ようやくのびのびと泳ぎ出しました。

肌を刺すような川風も徐々に和らぎ、リハビリや外気浴のために、川沿いやホームの屋上を散策されるにも良い季節です。

入居者様とお話する中で「気温が上がって、ずいぶん体が楽になるよ」「桜の開花が楽しみね」と、春の訪れを喜ぶお声が聞かれます。

まだまだ屋上ガーデンは冬枯れの情景ですが、徐々に草木が芽吹いてきています。花の香り・風の音・鳥のさえずりなどは、入居者様の安らぎにつながっていることと思います。

今号では、外出レクや機能訓練の様子を取り上げました。ご一読いただければ幸いです。

春のお買い物

高橋 望
2026年 3月 13日

暖かな春の日差しの中、ロイヤルホームでは第1弾・第2弾の買い物外出を実施しました。

第1弾は柿生駅そばのマルエツへ車いすで職員が付き添い、春の味覚・いちごを選んで皆でおやつに。外出して買って、みんなで味わう体験がとても新鮮で楽しげでした。

第2弾では、黒川にあるスーパー「ロピア」へ出掛けました。ロピアは精肉・鮮魚・野菜・惣菜・お菓子など品物がとても豊富で、店内は活気にあふれています。広い売り場と数多くの商品を前に、入居者様たちは「どれにしようかな」と目を輝かせながら品物を手に取り、楽しそうに選ばれていました。あまりに魅力

的な商品が多く、中には思わずたくさん購入される方もいらっしゃいました。

普段はなかなか外出して買い物をする機会が少なく、施設の買い物代行や月4回の移動販売を利用されることが多い入居者様にとって、実際の店内で商品を見て、手に取り、選んで購入するという体験はとても楽しい時間となったようです。

当ロイヤルホームでは、こうした日々の暮らしの中の小さな楽しみを積み重ねていくことが、心の豊かさにつながっていくと考えています。これからも入居者の皆さまが笑顔になれるようなレクリエーションを企画し、充実した時間を過ごしていただけるよう取り組んでまいります。

今月のトピック

■春のお買い物

■ロイヤルのリハビリ

■今季のレクリエーション

■委員会報告(栄養管理委員会)

ロイヤルホームのリハビリ

岡 聖史
2026年 3月 13日

ロイヤルホームには機能訓練室があり、リハビリ職員が入居者様の日々の機能訓練を担当しています。個別リハビリは15～30分、週1～3回を目安に実施しており、ホーム生活の楽しみの一つとして参加されている方も多くいらっしゃいます。訓練では、食事・入浴・排泄といった日常生活動作だけでなく、人との交流や趣味活動など、その方らしい生活を大切にしながら支援しています。歩行訓練に取り組む入居者様からは「自分の足でできることをこれからも続けていきたい」と前向きな声がかかれました。また、「歩くことでベッドを離れる時間が増え、人と話す機会も広がる」と話される方もいらっしゃいます。体調により訓練室への移動が難しい場合は、リハビリ職員が居室を訪問し、ベッド上でのリハビリを行います。さらに麻生リハビリ総合病院から派遣されるスタッフとも連携し、入居者様一人ひとりの状態に合わせて、健康維持と生活の質の向上を目指してまいります。



嚥下リハビリテーションに炭酸(2022年2月)=ロイヤルホーム

VOICE

2026年 3月 1日

・皆様こんにちは。ロイヤルホームに勤務して1か月と数日が経ちました。まだまだ不慣れなことが多く、日々予習復習にいそしんでおります。周りのスタッフの方に助けられ、ご入居者様の笑顔に励まされる毎日です。まだまだ皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、精いっぱい頑張ります。どうぞよろしくお願いたします。



・皆様こんにちは。ロイヤルホームでの勤務も長くなり、多くのご入居者様やご家族様と知り合うことができました。長く勤務している割にはまだまだ至らない点が多く、介護の難しさを痛感し、また皆様のご支援に支えられています。これからも精いっぱい頑張っております。どうぞよろしくお願いたします。



振り返り

岡 聖史
2026年 3月 6日

歴史哲学者トインビーの理論によれば、自らの命運を自らで決定できなくなった国家は滅びに向かうといます。ローマ帝国も、自国の防衛を他者に委ねたことが衰退の一因になったという見方があります。これは施設運営にも通じます。上層部の意向を反映させるだけではなく、現場に近い場所での意思決定を促すこともより顧客目線に立ったサービス実現には必要と感じます。もちろん予算は限られますが、現場の裁量を広げることは組織の活路となるはずで



今季のレクリエーション

2026年2月および3月は、はま寿司の出前レク、フラワー教室、チョコレートフォンデュ、ファミリーランチ等を開催いたしました。久しぶりの出前レクは、皆様のご期待に応えられました。4月にはお出かけレクも企画している様子です。実現いたしましたら是非、ご参加いただきたいと考えています。

フラワー教室(2025年10月15日)=ロイヤルホーム

活動報告 (栄養管理委員会)

岡 聖史
2026年 3月 1日

栄養管理委員会では、ご入居者様の栄養状態を評価し、その維持と改善に取り組んでいます。現在の栄養状態の把握に加え、摂食嚥下機能や身体機能、リハビリの進行状況、日常生活動作の変化など、多角的な視点から確認を行っています。年齢とともに食欲が減ってしまう方が多いため、できるだけたくさんの栄養を摂っていただけるように工夫しています。海外では肥満は多くの疾患のリスク因子とされる一方で、高齢者においては一定の利点があるとされて

います。日本人において同様の傾向が明確かは定かではありませんが、やせている状態よりも、ある程度体重がある方が、骨折や肺炎発症時の回復に良い影響を及ぼす可能性があります。ただし、過度な体重増加は健康リスクとなるため注意が必要です。そのため、体重と身長から算出するBMI(体重÷身長²)を重要な指標として活用しています。当ホームでは18.5～25の範囲を目安に個々に適した栄養状態を設定し、理想とされる22に近づけるよう支援しています。ファミリーランチ(2025年11月26日)=ロイヤル

